



# 祝 那須町 町制施行70周年

## 「夢ある未来へ、進化し続ける那須町」

私たちの住む「那須町」は、昭和29年11月3日に那須村、芦野町、伊王野村が合併して誕生しました。今年の11月で町制施行70周年を迎え、人々の暮らしや町の様子も大きく変わりましたが、私たちの住む「那須町」は、住み続けたい町、誇れる町、魅力あふれる町を目指し、これからも躍進してまいります。



那須町長 平山 幸宏

那須町は、昭和29年11月3日に、当時の芦野町、那須村、伊王野村の1町2村が合併し誕生しました。

これまで昭和、平成、令和と激動の時代をとおし、那須町が着実に発展をとげてこられたのも、先人たちのたゆまぬ努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

町制施行25周年の時に「那須町民の歌」を制定いたしました。その中に「人ら やさしく みんな手を組み ひとすじに

生きる」という歌詞があります。

これはまさしく開拓精神旺盛な那須町民の姿であり未来へ継承しなければならぬと感じております。

現在、少子高齢化、人口減少問題は全国的に抱える課題であり、本町も例外ではありません。

移住定住も重要な施策ではありませんが、空き家、空き別荘を活用し、本町の特徴を生かした二地域居住を推進し関係人口を増やしてまいりたいと考えております。

さて、那須町は、皇室の皆さまがご静養される那須御用邸をはじめ、豊かな自然、豊富な温泉、別荘や多くのレジャー施設があり「ロイヤルリゾート那須」として認知されております。

近年は、新型コロナウイルス

感染症の影響で、観光業を筆頭に本町の経済は大打撃を受けました。

が、国や県の支援や、町民の皆さまのご尽力のおかげで観光客入込数50万人超えのコロナ前の状況に戻ってまいりました。

那須は九尾の狐伝説のまちであります。古くはインド、中国、そして日本をまたにかけ、最終的には那須の地でその生涯を終えました。この伝説は、湯本地区にある国指定名勝「殺生石」で触れることができます。

今後の10年、20年、そして30年先の100周年に向け、「夢ある未来へ、進化し続ける那須町」をスローガンに住み続けたい町、誇れる町、魅力あふれる町を目指し全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 那須町のあゆみ

- 昭和29年 那須村、芦野町、伊王野村が合併し那須町が誕生
- 初め町長選挙が行われる
- 昭和30年 初の那須町議会議員選挙が行われる
- 旧鍋掛村寺子の一部を那須町に編入
- 昭和32年 役場本庁舎完成
- 昭和36年 町営那須岳スキー場にリフト完成
- 昭和39年 黒磯町、那須町共同火葬場完成、業務開始
- 昭和40年 那須高原有料道路が開通
- 昭和42年 黒田原地区簡易水道完成、給水開始
- 昭和43年 共同利用模範牧場が大谷に完成
- 那須山麓有料道路が開通
- 昭和54年 中央運動公園野球場オープン
- 町制25周年記念式典開催
- 那須町民憲章公布。町の花、町の木、町の鳥、那須町民の歌制定
- 昭和57年 東北新幹線開通
- 昭和59年 役場新庁舎完成
- 昭和61年 保健センター完成
- 昭和63年 スポーツセンター完成
- 平成2年 那須友愛の森オープン
- 平成5年 シルバー人材センター設立
- 平成5年 全国高等学校総合体育大会剣道競技が那須町で開催
- 文化センターオープン
- 平成8年 那須スイミングドームオープン
- 平成10年 町全域を集中豪雨が襲う（那須水害）
- 平成11年 芦野・伊王野地区を中心に集中豪雨が襲う
- 平成12年 那須歴史探訪館オープン
- 道の駅東山道伊王野オープン
- 平成13年 北那須広域農道「りんどうライン」開通
- 平成15年 りんどう大橋開通